

SECTION 01

サンフロンティアの価値観

サンフロンティア・フィロソフィ	5
サンフロンティア経営の考え方	6
受け継がれる「利他の精神」	7

社是 (Credo)

書：創業者・代表取締役会長 堀口 智顕

利他

一生をかけて、どれだけ多くの人に
役立たせていただくことができるか。

サンフロンティアの社是は「利他」です。

仲間のために働く、まずはこれです。そのうえで、仲間の幸福のために、お客様にはその10倍を利他の心で役立たせていただく。そして、お客様に役立たせていただくためには、さらに大きな愛で社会性にあった仕事をしなければなりません。社会性とは、地球や共存する動植物に対して、思いやりで満ちた心で仕事を通した生き方を考えることです。

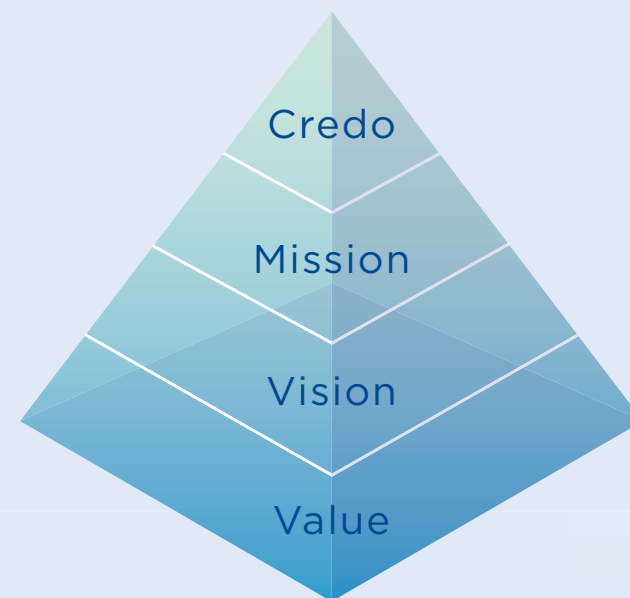
社会に貢献するために、思いやりの心で人の幸せに向かって創意工夫・改良改善する努力を全員が行なえる生き方。その第一歩は、周囲の人にどれだけ貢献することができるか。

それこそ私たちが追い求める価値なのです。

心の純粋さこそが偉大なことを成し遂げます。会社に対する誇り、愛情、親近感、そして大きな夢を抱き、感謝の心を持ってお客様や仲間のために全力を注ぐ。

「利他」の心をもって誇りある企業に、一人ひとりの力で育てていこうではありませんか。

～「経営理念手帳 1.サンフロンティアの経営(核心編) [1]利他」より～



Mission — 経営理念 —

全従業員を守り、物心両面の幸福を追求すると同時に、
共創の心をもって、人類社会の進化発展に貢献し、
持続可能な社会を実現する。

Vision — 目指す将来像 —

限りある資源を活かし、新たな価値創造に挑み続け、
世界一お客様に愛されるビジョナリー・カンパニーを目指す。

Value — 行動指針 —

- | | |
|----------------------|------------------|
| 1. 仲間のために働く | 5. 謙虚にして常に感謝と敬意を |
| 2. 正しいことを貫く | 6. 常に創造的な仕事を行なう |
| 3. 絶対的積極 | 7. 現場に徹する |
| 4. すぐやる、必ずやる、できるまでやる | 8. 素直に明るく、美しく |

当社は創業以来「利他」を社是としています。

利他の価値観のもと、フィロソフィ経営とアメーバ経営※の実践により人財を育成。

徹底したお客様視点からの“ものづくり力”と“心温かいサービス力”をベースに、本業連携多角化を推進、付加価値の高い商品とサービスを生み出しています。

経営の3つの軸

サンフロンティアの経営は、「理念・フィロソフィによる心の経営」「部門別採算による全員参加経営」「お客様視点で変化する経営」の三軸で構成しています。理念・フィロソフィを共有し、社員の心の成長を重視することで、利他の精神に基づいた企業文化を醸成しています。また、アメーバ経営システムによる小集団部門別採算制度の運用で、社員一人ひとりが経営者意識を持ち、自発的な行動の促進と組織全体の成長力を高めています。さらに、お客様の視点に立ち、社会環境やニーズの変化にいち早く対応することで、価値あるサービスを継続的に提供し、持続可能な発展を目指しています。

これら経営理念の実践が、社員のやりがいや企業の信頼を高め、長期的な価値創造の源泉となっています。

お客様視点で全てを考え、
自らが絶えず変化し、挑戦・創造・前進。
「他を利することがビジネス」という
理念のもと、各部門の連携を土台に、
連鎖複合型で高い付加価値を創出します。

お客様との信頼関係

顧客ニーズの深い理解

時代に応じる変化力

お客様情報の共有



当社は創業以来「利他」を社是としています。
まず一番身近な仲間のために働き、
お客様には仲間の力を結集して
10倍の貢献を目指します。
お客様に複合的で大きな幸せを提供することで、
豊かな社会の実現に貢献します。

ステークホルダーの幸福

価値観の共有

組織力の向上

社会からの信頼

小集団部門別採算制度（アメーバ経営）を構築し、
浸透させることにより、
社員の採算意識を高め、
一人ひとりが経営意識をもって取り組む
全員参加経営を推進しています。

責任の見える化

達成感

リーダーの育成

迅速な意思決定

Episode 1



社員は毎日、小グループに分かれて「経営理念手帳」の読み合わせを行ないます。価値観を揃え、人財基盤を強固にするための大切な時間です。



会長研修では、創業者である会長自らが講師となって、フィロソフィに込めた思いを社員に伝えます。人生や仕事の意義・目的を見つめ直す機会となっています。



上：入社後全員が必ず参画する「鹿児島研修」。生きる目的は何かを深く考える機会と位置づけ、先人の生き方から多くの学びを得ています。

下：シリコンバレー、中国 深圳など、ビジネスの最先端に触れる海外研修旅行では、肌で感じたエネルギーを事業に活かしています。

貫いてきた信念

受け継がれる

利
他
の
精
神

サンフロンティアグループの経営の
バイブル、「経営理念手帳」。



当社グループが貫いてきた信念、それが「利他の精神」です。この精神を共通の価値観として、社員全員が同じ方向を向いて業務にあたってきました。そして、「利を求むるにあらず、信任を求むるにあり」を大方針とし、目先の業績ではなく、お客様からの信任を純粋に追求してきました。その歩みの積み重ねが、今日の成長に繋がっています。「他を利する」という、人間として最も尊い行為を通じて成果を得ること。すなわちお客様のお役に立つことが、社員自身の物心両面の幸福に繋がります。これが、経営理念「全従業員を守り、物心両面の幸福を追求すると同時に、共創の心をもつ

て、人類社会の進化発展に貢献し、持続可能な社会を実現する」に繋がる思いです。また当社グループでは、スポーツ合宿（全社運動会）や社員研修旅行など、社内イベントを数多く開催しています。これらは「仲間のために尽くすことを学び、人財を育てる場」、すなわち利他の精神を実践する人財育成の機会と位置づけています。幹事を務める一人ひとりが「人の喜びを自らの喜びとする」という思いで企画・運営する。こうした「仲間のために働く」姿勢は日常業務にも息づき、部署やグループ会社の垣根を越えて互いに助け合う企業文化として根づいています。

Episode 2

逆境から生まれた新規事業

いま当社グループの中核となっている不動産再生事業。その始まりは、2000年のとあるビルの売買仲介に遡ります。バブル崩壊以降の不動産市況の停滞も影響し、順調に取引が進んでいたように見えていた契約が成約目前で破談に。創業者の堀口は売主様との約束を果たすため、当時は大きな挑戦でしたが自らビルの購入を決意しました。その後、当社では正・リニューアル工事を施し入居企業を募集し、販売させていただいたことが不動産再生事業のスタートでした。2013年には、リーマンショックの影響で、オフィス移転を余儀なくされたテナント企

業が相次ぎ、完成したばかりの内装を壊してしまうのはもったいないと考え、そのまま貸出する「そのまんまオフィス」を立ち上げました。さらには、オフィス移転にかかる入居企業の負担を、軽減するために、受付や会議室を設営・内装工事を施し「セットアップオフィス」として商品化。さらにコロナ禍には、感染防止対策を施した「空気をデザインするオフィス」や、働き方の変化に対応したフレキシブルオフィスを展開しました。逆境をも前向きな心、絶対的積極心でチャンスに変え、常に変化し続ける経営で、世の中に新しい価値を生み出してきました。



スタートアップ企業の成長支援を目指すセットアップオフィスは、初期費用をおさえて移転でき、従業員のモチベーションも上がる機能的で洗練された内装を備えています。

受け継がれる

利
他
の
精
神



不動産再生では、ビルをリノベーションして「人が集まり、心を通わせ、社会の発展と人々の幸せを創出していく場」へと生まれ変わらせます。



Episode 3

より多くの人の笑顔を創るホテル・観光事業への挑戦

ホテル・観光事業への挑戦は、2015年の「サンフロンティアホテルマネジメント」設立から始まりました。旅好きな堀口は、豊富な宿泊経験を活かし、「都心部の不動産再生で培ったノウハウを、地域活性化の新たな事業に活かそう」と考え、ホテル開発・運営事業をスタートしました。さらに、「自分を育ててくれた故郷・佐渡に恩返しをしたい」という強い郷土愛も胸に抱いていたことから、2017年には「サンフロンティア佐渡」を設立し、翌年には佐渡の老舗旅館の経営権を譲り受け、「地域創生事業」が本格的に始動します。そして、佐渡での取り組みは、地域の雇用を生み、観

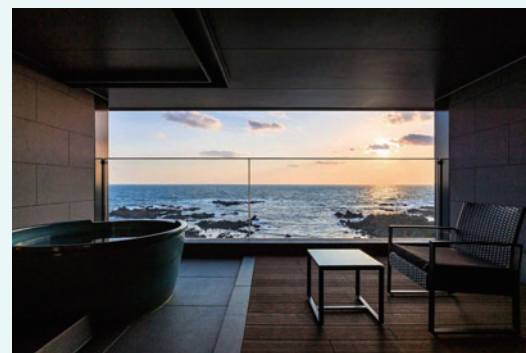
光資源を磨き上げ、地域経済に新たな循環を生み出しました。こうした経験を礎に、佐渡で培った成功モデルを全国の地域へ広げ、日本各地を元気にしたいという思いで、ホテル・観光事業を展開しています。その実現には、地域の皆様との信頼関係が欠かせません。当社グループは、地元の方々と協力しながら、地域の特性を活かした多様な取り組みを進めています。「どれだけ多くの人を笑顔にできるか」を追求すること。こうした姿勢を貫いていくことが、持続可能な成長に繋がる。——私たちはそう信じています。

受け継がれる

利
他
の
精
神



当社初の分譲コンドミニアムホテルとして2021年に開業した「HIYORIオーシャンリゾート沖縄」。全室サンセットオーシャンビュー＆フラットテラス付きスイートルームのこだわりの客室です。



大正14(1925)年、料亭「阿づ満」として旧相川町羽田で創業した老舗旅館「ホテル吾妻」の経営権を2018年に譲り受け、大規模リニューアルを経て「HOTEL AZUMA」にリブランドしました。

ホテル・観光事業を通して、街に賑わいをつくることで産業を興し、雇用を生み出し、関係人口を増やすことを目指し、地域創生型ホテルの展開を強化しています。



2026年12月開業予定の、地域創生型ホテル「たびのホテルlit酒田」共同記者会見の様子。
写真左から：加藤聡 酒田商工会議所会頭、堀口智顕 当社代表取締役会長、矢口明子 酒田市長